



「創造」について考える

副校長 千田 聰



皆さんは、本校の教育目標の一つ、「創造」について、考えたことがありますか？

岩波書店が刊行している日本で最も有名な国語辞典である『広辞苑』によると、

「創造(そうぞう)」:新たに造ること。新しいものを造りはじめること。⇒模倣(まねること) 広辞苑(第6版)より

と出ています。

英語に置き換えると、「Creative(クリエイティブ)」となり、創造的な、独創的な、という意味になります。また「クリエイティブ」は、現代ではそのままカタカナで使うことも多くあり、特に広告やデザイン業界などで使われています。

また、この「創造」に「力」を付けた「創造力」という形でも使われることも多く、「何かを新たに造りだす力・生み出す力」として、生徒のみなさんにとってもイメージしやすいのではないかと思います。

では、話をもとに戻しますが、皆さんはこの「創造」を身に付けることを目標に、何か学校生活で取り組んでいるでしょうか？4月から現在までの約半年を振り返って、「創造」したものはありましたか？また、身に付いていますか？

教育目標の1つである以上は、在学中か卒業するまでには身に付けてほしい力の1つであると思っていますし、この力を身に付けていくことで、これから変化の激しい時代にも、対応していくことができるようになると思います。

では、この「創造」や「創造力」はどのようにしたら身に付くのでしょうか。まずは「好き嫌いをせず、苦手意識をできるだけなくすこと」です。好きなことだけ、得意なことだけしかやらなければ「新たに生まれることはありません。次に、「色々なことに挑戦・チャレンジしてみること」です。「新たに造ること」ですから、これまで自分が経験していないことを経験することで、自分自身の中に「新たに何かが出来る、生まれる」のだと思いますし、「唯一無二のもの」を生み出すことができると思います。そして最後は、私の個人的な見解ですが、「ぼーっとすること」です。出来れば一人になり、何も考えず「ぼーっとする」時間をつくること。それが、「新たに何かを造り出すこと」につながると思います。

是非、この3つをやってみてほしいと思います。また、保護者の皆様には、何もしていないとつい口を出してしまいがちですが、お子様のこの何もせず「ぼーっとする」時間を是非大切にしていただければと思います。

そして何より、生徒たちに「創造力」を身に付けさせるために欠かせないことは、教員が「創造力」をもつことです。昨今、教員の働き方改革が言われています。教員が多忙で目の前の仕事にかかりきりになってしまふと、教員自身が「創造」することができなくなります。そのため、桐ヶ丘中学校では、最低月一回の定時退勤日を設けたり、普段でも業務が落ち着いた時には定時を待たずに休暇を取って退勤するよう促したりし、教員の「創造する力」の育成にもつなげております。保護者・地域の皆様におかれましては、このことについて、ご理解いただきますよう重ねてお願ひいたします。



11月の主な行事予定

4日(火)	3年三者面談(終)	15日(土)	土曜授業
5日(水)	2学期中間考査(理・数・英)※給食なし		第2回学校評議員会
6日(木)	2学期中間考査(国・社)※給食なし	17日(月)	生徒会朝礼
7日(金)	3年のみ2学期中間考査(実技)・漢検	20日(木)	新入生体験入学・部活動体験
10日(月)	全校朝礼・安全指導 専門・中央委員会	23日(日)	3年スピーキングテスト(学校外会場)
11日(火)	2年海外交流事業派遣団出発(～21日)	27日(木)	教育委員と中学生の懇談会
12日(水)	北区教育研究会(教科研究授業)	28日(金)	⑤⑥スクールコンサート

地域の行事で大活躍

18日(土)に桐ヶ丘郷小で行われた「オータムフェスティバル」では、吹奏楽部が開会のファンファーレと演奏を披露し、ボランティアで参加した生徒会役員をはじめとした生徒たちが各イベントブースでの運営補助を行いました。

19日(日)は袋小で赤羽北地区の「ファミリー・スポーツの集い」が行われ、同じくボランティアで参加した生徒たちは競技の運営補助を行い、走り回って活躍していました。また、同日、本校でも桐ヶ丘地区の「ふれあい運動会」が行われ、野球部、バドミントン部、陸上部、女子バスケットボール部の生徒たちが会場設営から運営補助への参加を行いました。

あいにく昼前に雨が降ってきたため、運動会は中止となってしまいましたが、ボランティアとしての参加を地域の方々からとても感謝され喜んでいただき、生徒たちも笑顔になっていました。地域の方々と共に創り上げる行事に参加し交流することができ、生徒たちにとってもボランティアマインドの醸成につながり、大変貴重な経験になりました。



オータムフェスティバル 吹奏楽部の演奏



ふれあい運動会 本部設営準備①



ふれあい運動会 本部設営準備②



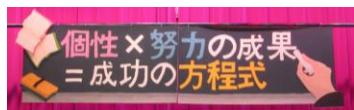
開会式に向けて自治会ごとに整列



全員で準備体操 (さくら体操)

第20回桐ヶ丘祭

10月25日(土)



10月25日、令和7年度第20回桐ヶ丘祭が行われました。午前中は合唱コンクールと展示見学、午後は舞台発表等が行われました。合唱コンクールに向けては、指揮者、伴奏者は夏休み前から準備をし、クラス練習が始まっています。パートリーダーを中心に練習を重ねました。放課後練習の様子をみると、パートリーダーが練習の方法を提案したり、合唱がより良くなるための相談をしたりと、自主的に練習を工夫する姿がありました。本番はその成果が発揮され、素敵な合唱が体育館に響き渡りました。特に3年生の歌声は素晴らしい、難しい曲想を見事に表現し、1・2年生のとてもよい見本となったとともに、1・2年生は来年、再来年の自分たちに思いを馳せるよい機会となったと思います。展示発表では、日頃の授業の成果や部活動の活動紹介、作品展示がありました。生徒たちは鑑賞カードに記録をとりながら、興味深く見学をしていました。普段は他学年の教科や部活動の成果を見る機会があまりないため、とても良い機会となりました。午後の舞台発表も盛り上がり、日頃の学校生活ではあまり見ることのできない生徒たちの様々な表情を見ることができた素敵な桐ヶ丘祭となりました。



3年1組「春に」



3年3組「信じる」



3年4組「ヒカリ」



3年2組「予感」



2年生 作品展示



1年生 作品展示



3年生 学年発表



生徒会発表



吹奏楽部発表

第75回北区立中学校連合音楽会・第79回連合学芸会



10月28日(火)、北とぴあにて第75回北区立中学校連合音楽会・第79回連合学芸会が行われ、本校吹奏楽部は人数が少ない中でも立派に発表を行いました。また、31日(金)は北区滝野川会館で連合学芸会が行われました。午後から行われた英語の部では、桐ヶ丘中から3年4組の工藤真桜さんが代表として英語発表を行いました。タイトルは「Gender in sports」。自身で考えた主張を英語で堂々とスピーチし、聞いている人に語りかけるように伝えました。とても素敵なスピーチでした。